

一中だより



第 4 号

令和 6 年 7 月 1 日(月)

〒368-0012

秩父市滝の上町9番22号



(学校HP)

秩父市立秩父第一中学校

TEL 0494-22-1142

E-mail dai1chu@chichibu-stm.ed.jp

学校教育目標 「学び 磨き 鍛える」

目指す学校像 「時を守り 場を清め 礼を正し

笑顔 感動 高き志 のある元気な学校」

目指す生徒像 「人間として優れ 学力体力に勝る」(校訓)

忠恕(ちゅうじょ)の心



校長 井上 淳一郎

20年振りとなる新紙幣が7月3日より発行されます。皆様ご存知のように新1万円札の肖像は、埼玉県にゆかりのある「渋沢栄一」です。そのため栄一翁を顕彰している深谷市の記念館は、連日、多くの人で賑わっているそうです。

渋沢栄一は、株式制度を導入し、500もの企業の設立に関わり日本資本主義の父と称えられています。秩父地区とも関係が深く、秩父セメント(現秩父太平洋セメント)や上武鉄道(現秩父鉄道)の設立に関わりました。

また、国際親善にも情熱を注ぎ、1927(昭和2)年にアメリカから日本へ贈られた「青い目の人形」の受入とその答礼でも、その中心となりました。ちなみにこの「青い目の人形」は、その多くが戦争中に敵国人形として不遇な扱いを受けますが、難を逃れた人形が秩父地区では、現在でも影森小学校、秩父こども園、横瀬小学校、長瀬第一小学校、長瀬第二小学校(R5年度末で閉校)で大切に保管されています。



影森小学校所蔵の青い目の人形

このように実業家や福祉事業家として有名な渋沢栄一ですが、実践では「道徳経済合一説」を説きました。事業では社会貢献や人々を幸せにする「公益」を追求する道徳面と、事業を継続させるために不可欠な「利益」を追求する経済面、そのどちらも欠けてはならないというのが栄一翁の考えでした。これは栄一翁が精神の根本として「忠恕の心」を据えていたからです。

※「忠」は自己の良心に忠実なこと、「恕」は他人を思いやること

埼玉県の偉人である渋沢栄一が紙幣の肖像になることから、生徒には少しでもその人物像を知っておいてほしいと考えています。特に、多くの企業の設立に関わり近代日本の経済の礎を築いたこと、秩父とも関係があること、生涯を通して「忠恕の心」に基づき行動したことは、ぜひ心に留めておいてほしいと思います。「人格の完成」を目的とする学校教育においても、「忠恕の心」は大変重要な精神であり、本校でも大切にしていきたいと思っています。